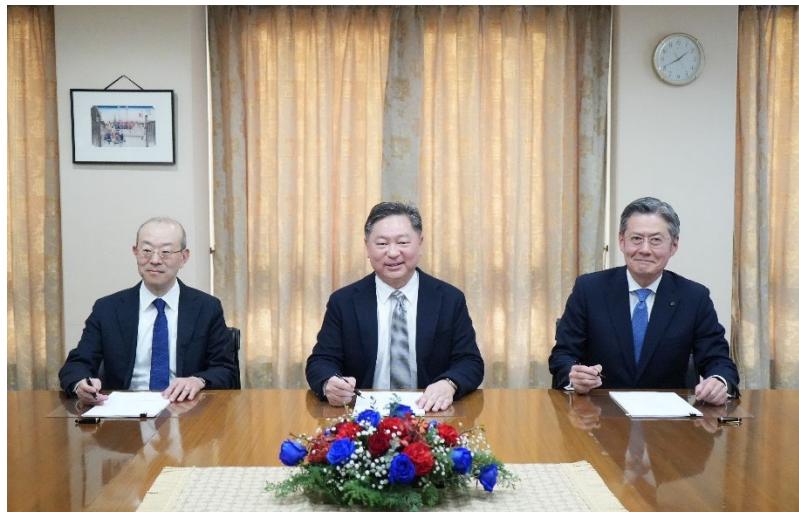


シンガポールの食品コールドチェーン物流を担う国分グループ企業 Commonwealth KOKUBU Logistics Pte. Ltd.に株式会社商船三井が出資

国分グループ本社株式会社〔本社：東京都中央区、代表取締役会長兼CEO：國分勘兵衛〕は、シンガポールで食品コールドチェーン物流事業を展開するCommonwealth KOKUBU Logistics Pte. Ltd.〔本社：シンガポール、代表者：Daniel Tan、以下「CKL」〕に、株式会社商船三井〔本社：東京都港区、社長：橋本剛、以下「商船三井」〕が出資したことをお知らせいたします。今般の資本参画により、CKLの株主である当社、Commonwealth Capital Pte. Ltd.〔本社：シンガポール、代表者：Andrew Kwan、以下「CCPL」〕、新たに加わる商船三井の3社が連携し、シンガポールにおけるコールドチェーン物流事業の一層の強化を図ってまいります。



12/9(火)国分グループ本社での調印式

左より、(株)商船三井 専務執行役員 田村 城太郎氏、Commonwealth Capital Pte. Ltd. 創業者兼グループマネージングディレクター Andrew Kwan氏、国分グループ本社(株)代表取締役社長執行役員 國分 晃

1. 目的

このたび、従来からの戦略的パートナーであるCCPLに加え、新たな戦略的パートナーとして商船三井を迎えました。国分グループが2026年より始動させる第12次長期経営計画に向けた重要施策の一つとして、東南アジアにおける食品コールドチェーン物流を強化し、食品メーカー、外食チェーンならびに小売業の皆さんに高品質物流サービスを提供してまいります。

2. 出資日

2025年12月15日（月）

3. 商船三井グループおよびCKLについて

商船三井グループは、東南アジアのコールドチェーン物流事業をはじめとした、ロジスティクス事業の拡充を進めています。

CKLの中核施設であり、商船三井グループが出資・参画する「8 Jalan Besut (8JB)」（エイト ジャラン ブサット）倉庫は、アジア最大級の地上100メートル超の高さを誇り、約90,000パレットを収容可能、延床面積：47,495m²、常温・冷蔵・冷凍の多温度帯に対応する5階建て倉庫です。最上階には高さ45メートルの完全自動倉庫エリアを導入しています。CKLは8JB倉庫の主要テナント且つ運営者として、ITシステムを活用した高密度・効率的な24時間体制の倉庫運営を実現、配送も含めたサービス品質の高い物流サービスを提供しています。今後は、シンガポールで培ったノウハウを活かし、東南アジア周辺国への事業展開も計画しています。

(参考)2023年3月28日付当社プレスリリース：コモンウェルス国分ロジスティクスがシンガポールで 4温度帯物流センター開設プロジェクトを立ち上げ (<https://www.kokubu.co.jp/news/2023/detail/0328140000.html>)



8JB倉庫 外観

【CKL 会社概要】

会社名：Commonwealth Kokubu Logistics Pte. Ltd.

設立：2018年

所在地：シンガポール (7 Buroh Lane #01-01, COMMONWEALTH CAPITAL BUILDING)

株主構成：CCPL社 51% / 国分グループ 34% / 商船三井 15%

代表者：Mr. Tan Chee Kiong (Daniel Tan) マネージングディレクター

事業内容：食品コールドチェーン物流事業（保管、配送、通関、在庫管理 等）

◆ 報道・取材に関するお問い合わせ

国分グループ本社（株）経営企画部 広報課 電話：03-3276-4121

〒103-8241 東京都中央区日本橋1-1-1 Mail : info01@kpost.kokubu.co.jp